

令和6年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番 号	16	学 校 名	御所実業高等学校
-----	----	-------	----------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	小学生にものづくりのおもしろさを伝えよう
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	薬品科学科3年生の課題研究として行った。 主体的・協働的に研究してきたことを整理・分析する中でコミュニケーション能力を育成するとともに、ものづくりのおもしろさをよりわかりやすく小学生に伝える力を養うことを目標に行った。
連携・協働相手	掖上小学校
地域と共有している目標・課題等	小学生に対して科学や製薬、ものづくりに関する興味を深め、生徒の表現力を育成することを目標に行った。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
近隣の連携している掖上小学校に出向き、課題研究で研究してきた内容（入浴剤の作製）を小学生に伝え、実際にもものづくり体験を実施した。生徒が研究してきたことを効果的に伝えるため、生徒同士がコミュニケーションをとりながら、ものづくりを体験してもらううえでの注意や技術を共有し、スライドによりわかりやすく伝える工夫を行った。	

2. 事業の成果と課題

3年時の課題研究において、入浴剤の作製について主体的・協働的に研究してきたことを整理・分析する中で、コミュニケーション能力や表現力を養うことができた。

小学生にものづくり体験をしてもらう際、作製手順をイメージしやすいように、パワーポイントのスライドを作成した。生徒同士がコミュニケーションをとりながら、「スライドには、漢字にふりがなをつけたり、画像を多くしたりしよう」と小学生にものづくりのおもしろさを伝えるための工夫を行った。また、作製のポイントや薬品や道具の使い方など専門的な用語ではなく、小学生にわかりやすい言葉を使うように工夫したり、順序立てて説明したりすることにより、生徒の表現力を養うことができた。

今後もものづくりのおもしろさを地域の小学生に伝えていくことで、ものづくりに関する興味を深めていくとともに、コミュニケーション能力や表現力を育成していきたい。

【生徒の感想】

- ・小学生がものづくりを楽しくできるように接し方や説明の仕方を考えたことが印象に残りました。つくる人のことを考えて作業することが楽しかった。
- ・専門用語を使わず、ものづくりを小学生に伝えることの難しさを実感しました。

